

平成 30 年度
事業計画書



社会福祉法人清章福祉会

平成 30 年度 事業計画書目次

社会福祉法人清章福祉会	1-10
特別養護老人ホーム清住園	11-12
地域密着型特別養護老人ホーム清住園	13-14
清住園ショートステイサービス	15-16
清住園デイサービスセンター	17-20
清住園第二デイサービスセンター	21-23
エルグラン清住園デイサービスセンター	24-25
居宅介護支援事業所清住園	26
姫路市四郷・東地域包括支援センター	27-28

社会福祉法人清章福祉会

中・長期 事業計画

社会福祉法人清章福祉会
特別養護老人ホーム清住園
平成 30 年 4 月 1 日

理念

おもてなしの心で介護
ご利用者の立場で介護
清潔な環境
地域との共生・貢献

中・長期事業計画策定のビジョン

団塊の世代の多くが後期高齢者になる 2025 年ごろには、年金・医療・介護において財政的な問題のみならず、施設不足や人材不足が一層深刻になっていると予測される。そのため当法人は、地域の高齢者福祉に資するために、地域公益性の高い、地域に信頼される法人として活躍することを主眼として中・長期事業計画を策定する。

1、中・長期事業計画の期間 2018 年～2029 年度（10 年間）

- 中・長期事業計画の実施は 10 年間とし、3 年ごとに見直しを行うものとする。
ただし、関係法令の改定、介護報酬の改定があった場合はこの限りではない。
- 中・長期事業計画を実現するための具体的な事業計画は 1 年間とし、毎年度作成する。

2、中・長期事業計画の目標

長期目標（10 年）

- 地域で暮らす誰もが「清章福祉会に相談に行きたい」と思ってもらえる法人となる。
- 地域の高齢者の誰もが「清章福祉会のサービスを受けたい」と思ってもらえる法人となる。
- 福祉関係者の誰もが「清章福祉会で働きたい」と憧れをもってもらえる職場にする。

中期目標（3～5 年）

- 利用者ニーズ、地域ニーズの把握に力を入れ、地域における公益的な取組を推進し、医療と介護の連携を強化する。
- 利用者の個別ケアを推進し、顧客満足度を上げる努力をする。
- 人材確保および人材の育成のため、処遇改善やキャリアパスの整備など人事制度の抜本的見直しを積極的に行い、有能で熱意のある人材が当法人を目指すような職場環境の整備を行う。また地域における若年層・主婦層・団塊の世代等の潜在的労働力の確保に向けて取り組む。
- サービスの稼働率を高めることにより事業の安定を図り、法人の自立経営を促進する。

3、中・長期事業計画の内容

目標を達成するため、下記の5つを重点項目として位置づけ、当法人の今後10年間に取り組むべき事業計画として推進する。

- 1) 介護、生活支援サービスの充実
- 2) 専門性の高いケアの提供
- 3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進
- 4) 人材確保・人材育成のための環境整備
- 5) 地域福祉の推進

<基本計画の内容>

1) 介護、生活支援サービスの充実

(1) 利用者の主体的な生活の実現

- 利用者の個別ケアを推進する。
- チームケアを向上させるための取り組みに向けて部署内で研鑽する。
- 報告・連絡・相談の徹底を図り顧客満足度を上げる努力をする。

(2) 食事サービスの充実

- 利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を検討する。
- 園芸療法と連携し季節感溢れる「おやつ／食事レクリエーション」を実施。

(3) サービス内容の標準化

- 各種マニュアルの見直しを3年ごとに実施し、活用する。
- 各部委員会の活動を活発化し、職員の意識を向上させる。

(4) 地域包括ケアシステムの推進

- 包括支援センター・居宅を中心とした地域包括ケアシステムの担い手となる。
- 在宅ケアから施設ケアへ統一したサービスの流れを法人内で構築する。

2) 専門性の高いケアの提供

(1) 認知症ケアの充実

- 認知症ケアを推進する介護職員のスキルアップを図る。
- 認知症に関する相談・調整機能の充実ため、相談業務のスキルアップを図る。

(2) 医療ケアの充実

- 看取りケアを充実させ、最期まで法人で看取ることができるようとする。
- 介護職員による喀痰吸引体制を構築するため資格取得を援助する。
- 在宅医療と連携し、介護度の高い在宅介護をサポートする。

(3) リハビリテーションの充実

- 機能訓練のシステムを強化する。
- 効果的なリハビリテーションを実施するための環境整備をする。

3) 事業基盤の安定に向けた取り組みの推進

(1) 各事業の事業目標・指針を明確にし、健全な事業運営の徹底

- 各事業の事業目標・指針を明確にし、理事会・評議員会にて承認を得る。

- ・ 法人組織を強化し、組織統治（ガバナンス）を確立する。
- ・ 健全な事業運営に努める。

(3) リスクマネジメント・危機管理体制の強化

- ・ リスクマネジメント体制を整備し、ローリスクを心がける。
- ・ 危機管理体制を整備し、安全安心の施設運営を目指す。

4) 人材確保・人材育成のための環境整備

(1) 人材確保のための環境整備

- ・ 職場環境の見直しによる業務の効率化を図る。
- ・ ライフワークバランスを踏まえた労働環境を整備し、働きやすい職場にする。
- ・ 職員のメンタルヘルスケアを充実させる。
- ・ 福利厚生を充実させる。
- ・ 無資格者・高齢者の雇用を推進する。

(2) 人材育成のための環境整備

- ・ キャリアパスを含む職員育成制度を確立する。
- ・ 人事制度の抜本的見直し
- ・ 運営の中核を担う人材及び管理職の育成

5) 地域福祉の推進

(1) 地域の多様な福祉ニーズへの対応

- ・ 潜在的な福祉ニーズを聞き取り、ニーズに合わせた福祉サービスを提供する。
- ・ 各部署で協力し合い、多様な福祉ニーズに法人全体で対応できるようとする。

(2) 地域公益事業の推進

- ・ 地域公益活動事業を積極的に実施する。
- ・ 地域住民が主体的に取り組む活動を支援する。

(3) 防災拠点としての機能強化

- ・ 福祉避難所の準備と運営のシミュレーションをする。
- ・ 地域との協働による防災拠点として整備する。

平成30年度 事業計画

法人目標

1. 利用者の求める主体的な生活の実現に向けて質の高いサービスを提供する。
2. 地域の中で福祉の拠点となる。
3. 一人ひとりが生きがいを持って働く職場を職員全員で構築する。

事業計画の内容

目標1について

- 利用者のニーズを把握し必要な個別ケアを促進する。
- チームケアを向上させるための取り組みに向けて部署内研修を実施し研鑽する。
- 質の高い認知症ケアを推進するため職員のスキルアップを図る。
- リスクマネジメント体制を整備し、安全・安心なサービスを提供する。
- 報告・連絡・相談を徹底する。
- 利用者に喜ばれる食事サービスを安全に提供する
- 平成30年度介護報酬改定により改訂及び新設された加算をできるだけ取得する。
 - ✧ 看取りケアを充実させ看取り介護加算を取得する。
 - ✧ 介護職員による喀痰吸引体制を構築し夜勤職員配置加算を取得する。
 - ✧ 利用者及び家族が求める効果的なリハビリテーションを提供し生活機能向上連携加算を取得する。

目標2について

- 在宅医療と連携し介護度の高い在宅介護をサポートする。
- 機能訓練のシステムを強化する。
- 認知症に関する相談・調整機能の充実ため、相談業務のスキルアップを図る
- 包括支援センター・居宅を中心とした地域包括ケアシステムの担い手となる。
- 在宅ケアから施設ケアへ統一したサービスの流れを法人内で構築する。
- 地域の潜在的な福祉ニーズを聞き取り、ニーズに合わせた福祉サービスを提供する。
- 地域公益活動事業活動・地域住民が主体的に取り組む活動を支援する。
- 福祉避難所の準備など地域との協働による防災拠点として整備する。

目標3について

- キャリアパスを含む職員育成制度を活用しながらお互いに教え合い切磋琢磨する。
- ライフワークバランスを踏まえた労働環境の構築に向けてお互いに協力し合う。
- 各部委員会の活動を活発化し主体的に法人運営に参画する意識を持つ。
- 職場環境の見直しによる業務の効率化を図る、また意見を出し合う。
- 人事考課制度の抜本的見直しを行い、モチベーション高く働くような体制を整える。
- メンタルヘルスケアを充実させる
- 福利厚生を充実させ、職員の定着と職員採用を安定化する。

平成 30 年度「地域における公益的な取り組み」実施計画

1、地域高齢者への介護予防支援

- ・「いきいき百歳体操」の会場として多目的ホールを提供
(週 2 回、地域高齢者 20 名弱参加)
- ・認知症予防研修会を企画（年数回）

2、地域住民との防災訓練および発災時の福祉避難所の準備

- ・地域住民参加の防災訓練を企画
姫路東消防署飾東出張所・地域住民の参加を呼びかけ合同で防災訓練を実施
消防署員による防災研修会を開催
清住自治会役員と清住園防災委員会による発災時の協力体制検討会を開催
- ・福祉避難所設立準備（清住園防災委員会）
備蓄食料の確保
発災時の給食提供方法の確認
発災時の連絡体制の整備

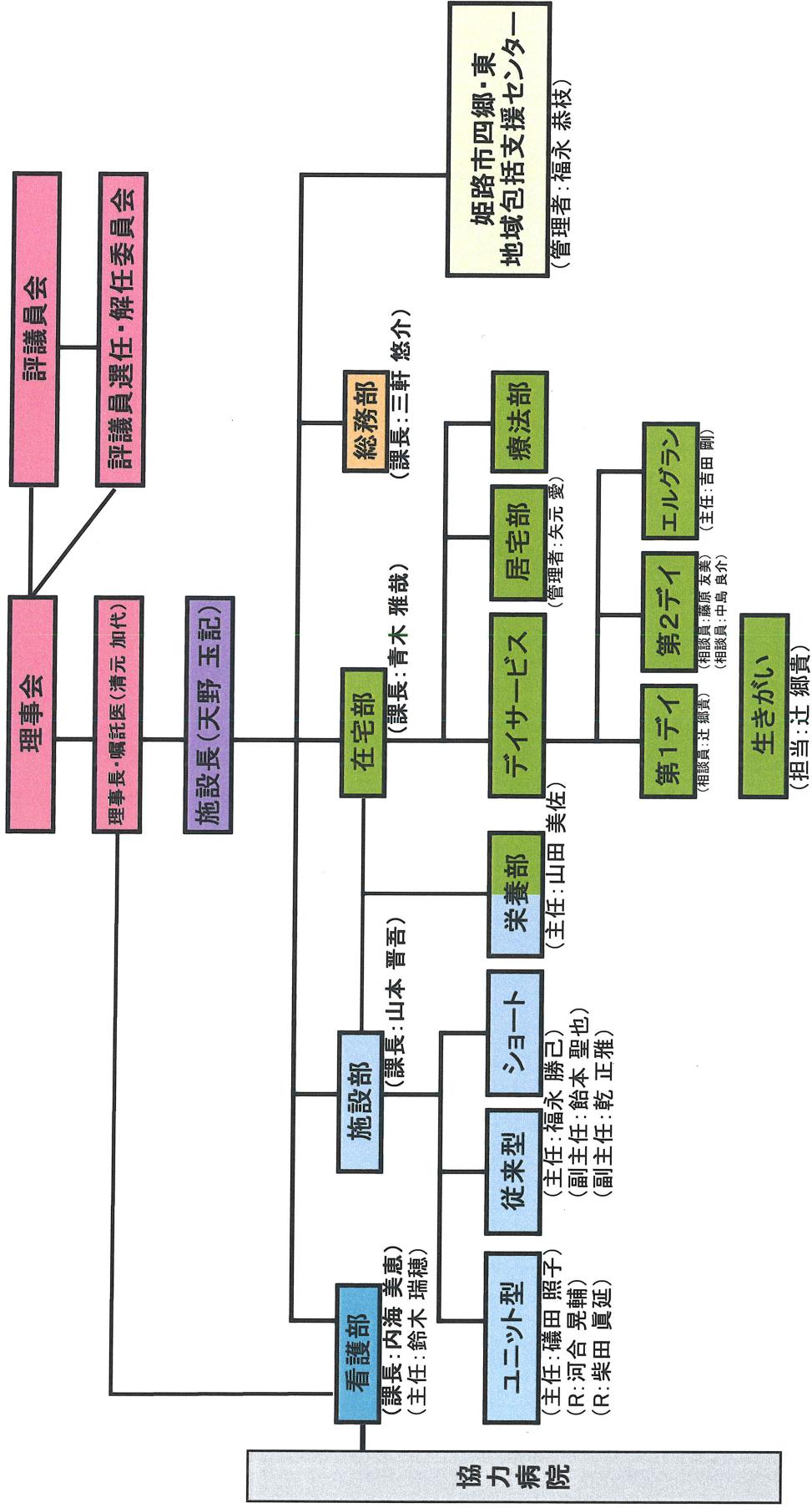
3、地域の人材育成および啓蒙活動

- ・介護実習生の受け入れ
- ・小・中・高校への出前講
- ・トライやるウイークの受け入れ

4、地域行事への参加および地域住民との交流

- ・清住盆踊り（H30 年 8 月 14 日）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
合同花火大会を清住園家族会と清住自治会で共催
- ・清住園ふれあい祭り（H30 年 11 月 11 日）：法人主催
地域自治会と共に地域住民の祭りとして開催
みどり保育園・谷内小学校・城山中学校の生徒によるボランティア参加
谷内公民館活動グループのボランティア参加
谷内消防団による駐車場誘導および模擬店運営
自治会役員を来賓として招待
参加者全員対象の抽選会を開催
- ・清住ゑびす祭りに協力（H31 年 1 月 10 日）：清住自治会主催
ゑびす祭りに参加
- ・とんど焼きに参加（H31 年 1 月）：清住自治会主催
特養入所者およびショートステイ利用者と共に参加
- ・小学校・中学校の生徒との交流会
- ・施設内行事の広報および参加を呼び掛ける

H30年度 清住園組織図(H30.4.1付)



職員会議・研修

会議名	内容	頻度	参加者
職員会議	全職員対象研修の実施	月 1回	全職員
リーダー会議	各部署予定・収支等の議題検討・	月 1回	各部署リーダー
幹部会議	運営に関する議題検討	月 1回	管理職
従来型 ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1回	施設部職員
ユニット ケアスタッフ会議	情報共有・検討	月 1回	施設部職員
デイ会議	予定・議題検討	月 1回	在宅部職員
居宅会議	情報伝達・勉強会	週 1回	居宅部職員
広報委員会	広報ほほえみの作成	年 4回	各部署委員
レク部会	クラブ活動・レクリエーションの企画運営	年 6回	各部署委員
看取り介護委員会	看取りに関する検討・研修の実施	年 4回	各部署委員
防災委員会	施設の防災・防犯対策 避難訓練の実施	年 4回	各部署委員
研修委員会	年間研修計画の立案・実施	月 1回	各部署委員
栄養委員会	献立・栄養管理の検討	月 1回	各部署委員
危機管理委員会	危機管理体制の充実	月 1回	各部署委員
感染症対策委員会	感染予防対策	年 4回	各部署委員
衛生委員会	労働環境の改善	月 1回	各部署委員
拘束廃止検討委員会	身体拘束に関する情報共有・対策	月 1回	各部署委員
褥瘡対策委員会	褥瘡予防に関する情報共有・対策	月 1回	各部署委員
事故・苦情対策委員会	事故・苦情内容に関する報告・対策	年 1回	各部署長
入所判定委員会	入所の検討・決定	月 1回	各部署長

研修名	対象者・内容	頻度
新人研修	新卒採用者・中途採用者を対象	3月
中途採用者研修	新人研修を受講できなかつた中途採用者を対象	9月
管理者研修	役職者を対象とした研修	適時
評価者研修	人事評価者向け研修	年 1回
部署別研修	各部署が必要に応じて実施	適時

総務部

1. 基本方針

地域に信頼される法人として活躍するために関係法令を遵守し、積極的に情報公開を行い、働きがい・働きやすい職場作りを推進し、情報発信をしていく。各事業との連携を密にし、各種管理業務の体制強化に努める。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・法人内外の情報収集・伝達・調整・発信
- ・安全衛生活動の推進
- ・介護保険制度改正に伴う各事業の業務支援

<経営目標>

- ・各事業の情報収集・分析により経営効率を高める
- ・各事業の稼働率、予算執行状況、運営状況などの財務データ等を、定例会議の場にて資料提供及び報告を行い、各部署の経営意識向上につなげる

<人材育成>

- ・職場環境の整備
- ・外部研修及び部署内研修により、職務に関する知識や事務処理能力の習得・向上に努める

<地域福祉活動>

- ・地域の方が施設設備を気軽に使用できるように広報活動を行う
- ・防災対策を強化し、非常時の福祉避難所拠点であることを周知していく

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

LED 照明	3,000,000 円
駐車場整備工事	200,000 円

栄養部

1. 基本方針

- ・利用者のニーズを把握し、より必要な個別ケアを実施していくために、日々利用者情報を集めながら他職種と共に、栄養状態の維持・改善に向けて取り組んでいきます。また、入所や通所のご利用者様の一人一人の栄養ケアマネジメントに基づき安全な食事提供を行います。地域の環境を生かした地産地消を目指し、ご利用者様が大切にしてきた「郷土食」「行事食」と一緒に作り、食する事で懐かしさと感動が与えられるように努力していきます。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・日々のご利用者様の変化に対応した栄養管理を行う
- ・他部署との連携を強化し、信頼関係を築く
- ・利用者に喜ばれる食事サービス（イベント食も含む）を検討する

<経営目標>

- ・他部署と協力し、ご利用者様の体調変化に対応した栄養管理を行い入院のリスクを回避する

<人材育成>

- ・歯科医・歯科衛生士と共に口腔ケアの大切さを他部署に伝えていく
- ・食を通じて栄養管理・コミュニケーション・食知識を伝えていく

<地域福祉活動>

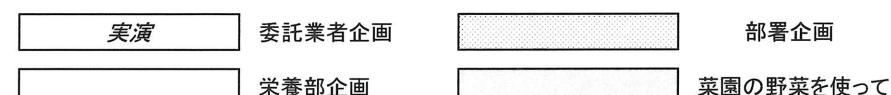
- ・シニア世代の食を通して健康作りの啓蒙

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

厨房内防虫アミ（取替え）	60,000 円
空調設備	520,000 円
食器買替（特養・デイ）	600,000 円
調理器具	100,000 円

2018年度 食事・おやつイベント 年間計画

月	季節のイベント	畠の収穫物	形態	特養	ユニット	第1デイ	第2デイ					
4月	花見	きぬさやつくし	食事	花見御膳(松花堂)		花見弁当						
			おやつ/レク	つくし・きぬさやの収穫と調理								
				ホットケーキデコ	リクエストメニュー	お花見ドライブ						
5月	父母の会	えんどう	ふれあい行事	父母の日 ケーキ								
			イベント	たこ焼き作り		うどんの実演						
			おやつ/レク	グリンピース採りと豆ごはん			リクエストメニュー					
6月	春の収穫	玉ねぎ じゃが芋	ふれあい行事	ボランティアによる 手作りおはぎ								
			食事レク	カレー作り								
			おやつ/レク	フルーチェ作り	リクエストメニュー							
7月	涼を求めて そうめん流し	なす トマト きゅうり	食事	七夕料理(7/7)								
			おやつ/レク	プリンのトッピング	なすび・きゅうりの漬物作り							
				ビアガーデン	リクエストメニュー							
8月	夏祭り ビアガーデン そうめん流し	スイカ	食事	夏祭り								
				土用の丑(7/20)								
			おやつ/レク	そうめん流し								
9月	敬老の日 実演イベント	栗 シソの葉	食事	スイカ割り								
			ふれあい行事	家人とお茶会								
			食事	祝い膳(敬老の日)								
10月	鉄板料理	さつま芋 しおとう	おやつ/レク		リクエストメニュー	おはぎ作り						
				お好み焼き作りと実演								
						しとうの収穫と佃煮作り						
11月	冬の風物 干し柿作り ふれあい祭り	柿 かぼちゃ 白菜				さつま芋掘り						
			食事レク	さつま芋の茶巾作り	さつま芋を使ったおやつ							
			おやつ/レク	焼き餃子実演	かぼちゃのグラタン作り	焼き餃子実演						
12月	クリスマス忘年会	獅子柚子 大根 白菜	食事	干し柿作り								
				リクエストメニュー								
				クリスマス献立(12/25)								
1月	正月 新年会	水菜 大根	食事	年越しそば(12/31)								
				ケーキバイキング			クリスマスケーキ作り					
			食事レク	寄せ鍋								
2月	節分	菜の花	おやつ/レク	冬至の柚子風呂・かぼちゃ料理(12/22)								
3月	実演	ふきのとう	食事	おせち料理(1/1)								
				お祝い散らし寿司(1/4)								
			おやつ/レク	七草(1/7)								
				おでん								
			おやつ/レク	おしるこ	白玉おしるこ作り							
				節分献立(2/3)								
			おやつ/レク	菜の花の収穫と調理			チヨコを使ったおやつ					
				ケーキバイキング								
				ボランティアによる手作りおはぎ								
				握り寿司バイキング 実演(3/1)								
			おやつ/レク	ふきのとうの収穫と料理			リクエストメニュー					



特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 平成30年度目標

<部署目標>

○施設

- ・適切な言葉使いの徹底を図り、利用者の想いを大切にした介護を実践する
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族や職員間のコミュニケーションを密にする
- ・業務の効率化を図り、働きやすい職場環境作りに努める

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）

<経営目標>

- ・円滑な入所に努めることにより介護報酬の確保を図る
- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する
- ・入院が短期間となるように努めることにより年間平均稼働率97%を目指す

<人材育成>

- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る
- ・職員の教育システムを見直し、統一した指導ができるようマニュアルを作成する

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生等の受入を積極的に行う
- ・地域行事に積極的に参加する
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事	行事食
4月	花見	花見御膳
5月	父母の会、家族会総会	たこ焼き作り
6月	外出（喫茶）	カレー作り
7月	そうめん流し	七夕料理
8月	ビアガーデン	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会、夕涼み会	祝い御膳
10月	外出（コスモス鑑賞）	お好み焼き作り
11月	ふれあい祭り	焼き餃子作り
12月	クリスマス会	クリスマス料理
1月	おせち、正月行事	おせち料理
2月	節分（豆まき）	節分料理
3月	外出（喫茶）	握り寿司バイキング
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

低床3モーターべット（20台）・サイドレール 3,500,000円

地域密着型 特別養護老人ホーム清住園

1. 運営方針

利用者の一人一人の生活習慣や好みを尊重し、利用者様の生活に沿ったケアの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 平成 30 年度目標

＜部署目標＞

○施設

- ・入居者一人ひとりに合わせたケアと充実した余暇の実践により、生活の質の向上を図る。
- ・報告・連絡・相談を密にし、家族・職員間とのコミュニケーションと情報交換を図る。
- ・快適な生活環境を整え、事故のない安全な支援に努める。

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・他部署・提携病院との連携を図る
- ・利用者・家族との連携を密にし、終の棲家としての役割を果たす（看取りの充実）

＜経営目標＞

- ・安定的な介護報酬の確保に向けて、減収の原因となる入院者を減らすために、他職種協働で日常の健康管理を徹底する。
- ・入院が短期間となるように努めることにより年間平均稼働率 97%を目指す。

＜人材育成＞

- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の習得を図る。

＜地域福祉活動＞

- ・ボランティア及び実習生等の受入を積極的に行う。
- ・地域行事に積極的に参加する。
- ・地域の方々や家族などに対して園内行事への参加を呼びかけ、施設を開放し地域との連携を深める。

3. 年間行事・行事予定

月	年間行事	行事食
4月	花見	花見御膳
5月	父母の会 家族会総会	たこ焼き
6月	外出	カレー作り
7月	七夕	七夕料理
8月	ビアガーデン	そうめん流し
9月	敬老会	祝い膳（敬老の日）
10月	外出（各地域秋祭り コスモス）	お好み焼き作り
11月	ふれあい祭り	南瓜のグラタン
12月	クリスマス会 忘年会	クリスマス献立・鍋
1月	正月行事	おせち料理
2月	節分(豆まき)	節分献立
3月	外出	握り寿司バイキング
備考	ボランティア行事（不定期） 外出（喫茶 買い物） 誕生日会	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園ショートステイサービス

1. 運営方針

利用者の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立ってサービスの提供に努める。明るく家庭的な雰囲気を有し、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、他の保健・医療・福祉サービスとの連携に努める。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

○施設

- ・安定した稼働率の確保の為、重度利用者の受け入れを円滑に進める
- ・報告・連絡・相談を徹底し、家族から信頼される事業所になる
- ・業務の効率化を図る

○看護

- ・利用者の健康管理・事故防止に努め利用者の生活を守る
- ・利用者の健康状態や日常生活の把握に努め、可能な範囲で重度の利用者を受け入れられるよう努める

<経営目標>

- ・安定した利用者の確保と年間平均稼働率 90%を目指す
- ・重度利用者の受け入れ体制の構築と各部署との連携

<人材育成>

- ・相談員の育成の為、チューター制度を活用することでスキルアップを目指す
- ・年間を通じて計画的に内部研修や外部研修を継続して実施し、職員個々の介護技術や知識の向上を図る

<地域福祉活動>

- ・地域行事に参加し、相談しやすい環境を整える

3. 年間行事・行事食予定

月	年間行事	行事食
4月	花見	花見御膳
5月	父母の会、家族会総会	たこ焼き作り
6月	外出（喫茶）	カレー作り
7月	そうめん流し	七夕料理
8月	ビアガーデン	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会、夕涼み会	祝い御膳
10月	外出（コスモス鑑賞）	お好み焼き作り
11月	ふれあい祭り	焼き餃子作り
12月	クリスマス会	クリスマス料理
1月	おせち、正月行事	おせち料理
2月	節分（豆まき）	恵方巻き
3月	外出（喫茶）	握り寿司バイキング
備考	ボランティア行事（不定期） 買い物ツアー（不定期） 誕生日会（毎月） 書道クラブ（毎月） 園芸療法	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

従来型に準ずる

療法部

1. 基本方針

ご利用者の全体像を把握して、生活機能の維持・向上を図り在宅での望む生活が送れるよう各療法を提供する。

2. 平成 30 年度目標

＜部署目標＞

- ・利用者及び家族の療法に対する意向や希望などの情報を収集し、その実現に向けて各種療法を計画・実施する。
- ・円滑で効率的な活動が行なえるように他部署との情報交換や連携を図る。

＜経営目標＞

- ・機能訓練・音楽・園芸・物作り等の療法に参加することが、デイサービスを利用したい続けたいと思う目的の一つとなるように各療法内容を充実させる。
- ・ご利用者の状態に合わせて、個別対応または小集団での療法の見直しを隨時行い、加算算定者を増やす。

＜人材育成＞

- ・デイ職員全員が身体機能の維持・向上の視点を持ってご利用者に支援できるようになる。

＜地域福祉活動＞

- ・掲示板等により、地域の方々や訪問者などに対して療法部の活動内容を紹介する。

3. 主な施設整備・修繕・備品購入等

3 種類のクッショーン	10,000 円
清住園 園芸療法農園 ガーデン補修工事	250,000 円
清住園 園芸療法農園 補修工事	490,000 円

清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅の虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・介護予防・日常生活支援総合事業への柔軟な対応に加え、地域包括支援センターとの連携を図りつつ、現行サービスを維持し質の高いサービスを提供していくよう努める。
- ・個別ニーズを把握し、利用者ひとりひとりに沿ったアクティビティサービスを創造し、療法部と共同し個別機能訓練の強化を図り、生活機能の向上を図る。

<経営目標>

- ・新規利用者の獲得を図りつつ、第二・エルグランへの移行にも柔軟に対応しながら売上の向上に繋げる。
- ・利用者及び利用者様家族に積極的な利用をして頂けるように信頼関係を連絡・報告・相談を密に取り、各種プログラム作り、個別機能訓練の実施と受け入れ体制を円滑に行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をお勧めする。

・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間
予防通所 介護事業	基本事業	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 9:30～17:00
	入浴	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 10:00～15:00
	アクティビティ	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 13:00～16:00
通所介護 事業	給食	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 12:00～13:00
	入浴	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 10:00～15:00
	給食(栄養ケア)	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 12:00～13:00
	個別機能訓練	256	月～金(除: 土日・年末年始 12/31～1/3) 10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が 301 人～750 人まで）

利用者定員：35 名

○稼働率

- ・平均 30 名以上 月平均 85%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域（加西市、神吉町、志方町等を重点に置く）の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所への郵送を行う。
- ・定期的に当事業所の営業用の広報新聞等を更新し各事業所への営業訪問を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解等を図っていく。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・地域住民との交流を図る為、移動販売などの企画をし施設の開放を行う。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見会、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	新緑ドライブ	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞ドライブ	焼きそば
7月	谷内小交流会（七夕）	七夕料理、そうめん流し
8月	夏祭り、ぶどう狩り（お盆）	うなぎ（土用の丑）
9月	敬老会	祝い膳、うどんの実演
10月	コスモス鑑賞ドライブ、芋ほり	お好み焼き
11月	紅葉ドライブ、干し柿	焼きぎょうざ
12月	クリスマス会、忘年会	クリスマス料理、鍋

1月	初詣、絵馬作り、新年会	新年会（鍋、おでん）
2月	節分、豆まき、梅鑑賞ドライブ	恵方巻き
3月	雛祭り、菜の花鑑賞ドライブ	握り寿司バイキング
備考	買い物ツアー（隨時）※12月～2月は休止 外食ツアー（春～秋） 衣料販売（隨時） 地域ボランティア（隨時）	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

清住園第二デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスを提供し、老人の自立的生活に対する援助、社会的孤立感の解消に努め、心身機能の維持向上を図る共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・利用者の重度化に対応する為に介護力の向上を図り、質の高い介護サービスが提供できるよう努め、安定した利用者数及び稼働率での営業を行っていく。
- ・個別ニーズを把握し、利用者一人ひとりに合った個別機能訓練の提供を療法部と連携し在宅での生活機能の維持向上を図る。

<経営目標>

- ・利用者及び利用者家族に積極的な利用をして頂けるように連絡・報告・相談を密に取り信頼関係を築き、各種プログラム作りや個別機能訓練の実施と受け入れ体制を円滑に執り行えるよう各部署との連携を図る。
- ・各種行事予定の企画、利用者への呼びかけを随時行い、追加利用をおすすめする。
- ・積極的な第 1 デイよりの利用者移行、サ高住の利用者の受け入れを行う
- ・重度利用者、医療看護が必要な利用者(在宅酸素、ストマ、胃瘻等….)を可能な限り受入れ、介護職・看護職が連携して適切な対応が行えるような組織作りを行う

・運営日数

区分	予定日数	運営曜日	運営時間
予防通所 介護事業	基本事業 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
	入浴 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	アクティビティ 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	13:00～16:00
	給食 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
通所介護 事業	入浴 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～15:00
	給食(栄養ケア) 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	12:00～13:00
	個別機能訓練 308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	10:00～16:00

運営規模：通常規模型（月延べ人数が 301～750 人まで）

利用者定員：35 名

○稼働率

- ・1日平均 26名以上 月平均 74%稼働率

○営業活動

- ・月初めに関係居宅事業所へ実績を持参し訪問を行い、利用者空白・少数地域(加西市、神吉町、志方町等を重点に置く)の居宅事業所への営業訪問活動を行う。
- ・毎月、月初めに翌月のカレンダーを盛り込んだ「空き情報」のチラシを地域の居宅事業所へ郵送を行う。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解などを図っていく。

○看護・介護職員

- ・年間を通じて計画的に内部研修を行い、感染症対策、専門的技術・知識の向上を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティア及び実習生の受け入れを積極的に行う。
- ・谷内小学校交流学級との定期的な交流会を行う。
- ・積極的に独居利用者や買い物難民利用者へ食材・生活用品配達サービスの支援を行う。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見会(園庭)、花見喫茶、花見ドライブ	花見弁当
5月	セントラルパーク外出、新緑散策	行楽弁当
6月	紫陽花鑑賞、遠出外出	おはぎ
7月	谷内小学校交流会、そうめん流し	うなぎ(土用の丑)
8月	夏祭り	そうめん流し
9月	敬老会、遠出外出	うどんの実演
10月	セントラルパーク外出、コスモス鑑賞	さつま芋
11月	紅葉ドライブ、遠出外出	干し柿
12月	クリスマス会	クリスマスケーキ
1月	初詣、十日ゑびす	白玉ぜんざい
2月	節分、豆まき、梅見ドライブ	恵方巻き、バレンタイン
3月	谷内小学校交流会、遠出外出	おはぎ

備考	マジックショー(毎月) おやつレク(毎月) 創作レク(毎月) 個別クラブ(随時)…カラオケ、クラフト、書道・写経、水彩画、囲碁、将棋 オセロ、等 地域ボランティア(随時)
----	--

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

機械浴 シャワーチェアーカバー一式	40,000 円
-------------------	----------

エルグラン清住園デイサービスセンター

1. 運営方針

在宅虚弱老人、要介護老人、認知症老人に対して通所により、入浴・食事の各種のサービスの提供し、老人の自立的生活に対する援助、社会的孤独感の解消に努め、心身機能の維持向上を図ると共に家族の方の精神的、身体的負担の軽減を図る。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・職員の専門性や介護力の向上に努め、柔軟なニーズ解決力と質の高い介護を利用者全員に提供できるようにする。
- ・サービスを利用することで、楽しみを見つけ本人が主体となって生活を送ってもらえるような支援体制を構築する。

<経営目標>

・運営日数

区分	予定日 数	運営曜日	運営時間
基本事業	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)	9:30～17:00
予防通所 介護事業	入浴	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)
	給食	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)
通所介護 事業	入浴	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)
	給食(栄養ケア)	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)
	個別機能訓練	308	月～土(除:日・年末年始 12/31～1/3)

運営規模：通常規模型（月延べ人数が 301 人～750 人まで）

利用定員 30 名 (H29.3～)

○稼働率

- ・1 日平均 19 名以上 月平均 65% の稼働率

○営業活動

- ・利用者の近況状態や施設の取り組みなどを知つもらうための訪問活動を定期的に行う。
- ・紹介・見学・初回利用時などには担当ケアマネと密に連絡を取り、信頼関係の構築に努める。

<人材育成>

○相談員

- ・年間を通じて計画的に外部研修へ参加し、同じ部署の相談員へも積極的に振り返り報告を行い、相談援助技術・知識の向上を図る。
- ・月一回の相談員会議で、介護保険の動向や各種加算内容の理解などを図っていく。

○看護・介護職員

- ・内部研修を計画的に行い、「人が人を支援する」とはどういうことなのかを考えられる職員の育成を行う。
- ・感染症対策や防災対策など非常時でも慌てず対応できる職員の育成を図る。

<地域福祉活動>

- ・ボランティアの受け入れや訪問販売業者などの社会資源の選定や活用を積極的に行う。
- ・街の福祉相談拠点となれるよう地域の会合に積極的に参加し、地域との結びつきを強化する。

3. 年間行事・活動予定

月	年間行事	行事食
4月	花見・喫茶ツアーア・誕生日会	花見弁当
5月	新緑散策・工場見学ツアーア・誕生日会	駄菓子パーティ
6月	アジサイ鑑賞・喫茶ツアーア・誕生日会	駄菓子パーティ
7月	七夕・季節飾り作成・誕生日会	流しそうめん
8月	向日葵鑑賞・工場見学ツアーア・誕生日会	流しそうめん
9月	敬老会・誕生日会	
10月	コスモス鑑賞・芋ほり・誕生日会	行楽弁当
11月	セントラルパーク外出・誕生日会	
12月	クリスマス会・誕生日会・季節飾りつくり	ケーキつくり
1月	初詣・誕生日会	
2月	梅の花鑑賞・節分豆まき・誕生日会	
3月	ひな祭り・喫茶ツアーア・誕生日会	
備考	毎月の誕生日会には手作りおやつを提供 訪問美容はおおむね2カ月に1回程度実施予定 機能訓練を兼ねた外出は毎月適宜行う	

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

特になし

居宅介護支援事業所清住園

1. 運営方針

利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、利用者の要介護状態や悪化の防止のため、総合的な支援の提供に努めます。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・制度改正について理解し、特定事業所として質の向上を目指す
- ・専門的視点での課題分析による、個別的かつ主体的なケアプランの作成
- ・関係機関との連携に積極的に取り組む

<経営目標>

○運営日数

営業日：244 日　月～金曜日(国民の祝日、12 月 29 日～1 月 3 日は除く)

○稼働率

介護支援専門員 3 名に対して

担当可能件数：要介護 105 件・要支援 8 件

目標稼働率：90%(介護給付のみ)

目標件数：要介護 94 件・要支援 8 件

<人材育成>

- ・年度計画を基に内部で計画的に勉強会を開催。勉強会の司会進行を持ち回りにすることで、担当分野の理解力を深め指導的役割を担うと共にアシリテーションの技術の向上を目指す
- ・外部研修に参加し、学びの中の気づきから行動変容に繋がるよう言語化し認識していく
- ・個人目標に対しての活動については、計画、実施について評価することで、スキルアップへの意欲を継続できる環境を作っていく
- ・業務マニュアルに着手し、業務改善に繋げ効率化を目指す

<地域福祉活動>

- ・地域包括支援センター主催の研修会へ参加
- ・地域包括支援センター、地域関係者からの困難事例の受け入れ
- ・他法人との合同研修開催

姫路市四郷・東地域包括支援センター

1. 基本方針

- ・認知症や介護支援が必要となっても、その人らしい生活が地域で継続できるように支援し、住民の尊厳ある自立した暮らしを支えられる包括支援センターをめざす。
- ・地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて「住まい」・「医療」・「介護」・「予防」・「生活支援」が一体的に提供される地域包括ケアシステムを構築していくための中核的な存在になれるよう努める。
- ・民間に委託された公益事業であることを踏まえて活動する。

2. 平成 30 年度目標

<部署目標>

- ・相談者に地域資源を活用し適切に対応できるよう「地域包括ケアシステム」の構築に努める。
- ・センターの総合相談をワンストップ窓口にするよう努める。
- ・在宅生活をサポートできる専門的知識の研鑽に努める。

<経営目標>

- ・予防プランの外部委託をせず自前プランを持つように努め、各プランナーの担当件数を 70 件以上にする。
- ・法人運営に協力する。

<人材育成>

- ・計画的に外部研修に参加し、各専門分野に関連した技術や制度についての最新情報を学び、センター内職員と共有し研鑽する。
- ・センター内の勉強会及びカンファレンスでの年間研修計画を立て、相談業務のスキルアップおよび地域の啓蒙活動等を実施できるプレゼンテーション技術を向上させる。
- ・パソコン操作技術および業務記録の技術向上に努める。

<地域福祉活動>

- ・地域の保健・医療・福祉サービスやボランティア活動などの社会資源を活用できるように地域の体制を整えていく。
- ・総合相談支援業務・権利擁護業務・包括的継続的ケアマネジメント支援業務など、姫路市から委託された包括支援センター業務を着実に遂行できるよう努める。
- ・介護予防および健康の維持・増進に向けて取り組み、地域で認知症の理解を深めるための啓蒙活動を行い、高齢者にやさしい地域づくりに努める。
- ・認知症の程度に応じた医療や介護の情報提供を行い、家族や介護者への支援を行なう。

3. 年間活動計画

月	計画
4月	各機関への挨拶・新役員への挨拶 介護予防教室の計画 社協総会参加
5月	機関誌発行 認知症予防教室開催（別所） 圏域連絡会議
6月	医療機関への挨拶 事業所交流会
7月	認知症サポーター養成講座 東ブロック研修
8月	機関誌発行 圏域連絡会議
9月	東ブロック研修 金融機関・事業所挨拶
10月	ケアマネサロン開催 地域相談会 サロン交流会
11月	機関誌発行 介護者のつどい
12月	介護予防教室
1月	各機関新年挨拶
2月	東ブロック研修
3月	役員交代等の情報収集
備考	隨時、いき百立ち上げ支援 認知症サポーター養成講座

4. 主な施設整備・修繕・備品購入等

アネロイド血圧計 5,000 円
電動自転車 100,000 円